

多能工型研究支援人材育成コンソーシアム 情報管理ガイドライン

No	教育プログラム	対象	対応
1	座学講座	配布資料等	配布資料等のコンテンツの著作権は講師に帰属する。原則としてコンソーシアム受講生の個人の利用に限定する。
2	研究活動	研究者から提供される情報 (研究内容、共同研究情報など) 受講者のレポート	研究者の要求に応じて機密保持契約または誓約書を締結する。コンソーシアム関係者(受講者、コンソーシアム事務局、コンソーシアム内での各種委員会委員等コンソーシアム事業に関わる教職員等)に限定し、原則として非公開とする。受講者のレポートは受講者間で原則として共有化しない。内容を共有化する際は受講者の承諾をコンソーシアム事務局がとる。
3	企業活動	企業から提供される情報 (配布資料、企業内部情報、共同研究など) 受講者のレポート	企業側の要求に応じて機密保持契約または誓約書を締結する。 コンソーシアム関係者に限定し、原則として非公開とする。受講者のレポートは受講者間で原則として共有化しない。内容を共有化する際は受講者の承諾をコンソーシアム事務局がとる。
4	ファンド申請 リライト作業	研究者から提供される情報 (申請書、研究内容、共同研究情報など)	コンソーシアム関係者に限定し、原則として非公開とする。研究者から開示される研究情報のコンソーシアム関係者以外の提供・公開については、その都度、研究者に承諾を取る。
		受講者からの情報 (受講者が作成した申請書、アイデア)	受講者が作成した申請書等のコンテンツは受講者間で共有化しない。事務局、申請書の提供者及び申請書の評価者、受講生が作成したコンテンツを評価するため、に必要最低限の関係者のみに限定する。情報提供した研究者が、受講生が作成したコンテンツのアイデア等の利用の希望等が発生した場合、研究者と受講者間の関係調整をコンソーシアム事務局がおこなう。
5	プロジェクト調整能力	受講者の発表や議論から得られた情報 ケーススタディのテキスト、力量評価シート	コンソーシアム関係者に限定し、原則として非公開とする。 ケーススタディのテキストは受講生間で共有する。 力量評価シートはコンソーシアム事務局等、グループ討議のテーマ設定や受講生評価のための必要最低限の関係者内できとめ、受講生間で共有しない。

受講者の個人情報の扱い：人材育成コンソーシアム事業の目的のために利用し、コンソーシアム事務局が管理を徹底し、本人の同意のもと適切に対応いたします。